



高浜市長 吉岡 初浩

ております。本市がめざすところは、コンパクトなまちにふさわしい公共施設のあり方であり、未来市民である子どもたちを地域全体で育むための、環境の充実をはかるものです。今後、市民の皆さまとどんなまちをつくらしていきたいか、また、つくっていかねければならないのか、互いに意見交換を深めながら、時代の変化に対して鋭敏な判断をしてまいりたいと考えております。

物質的な豊かさで満足度を計る時代は終わりを告げ、「かかわる」「つながる」ことをとおして幸福実感の向上を追求する、成熟社会への転換期に入ります。市の将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を心に刻み、市民の皆さまとともに高浜市をいつまでも住みたくなるまちに育ててまいります。

終わりに、新春の門出にあたり、市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

## 議会改革を

います。かたや、テレビでは、認知症などの少子高齢化に関連した健康番組が花盛りです。

高浜市議会では、昨年度から公共施設あり方検討特別委員会を設置し、市庁舎の建て替えや施設の複合化の議論を、時間をかけて行っておりますが、この問題にも、実は少子高齢化が大きく関わっております。

税増が見込めない中で、増え続ける社会保障費にどのように対応していくか試されているのだと思います。

高浜市議会も、昨年5月に改選がありました。新人3人を迎え、議員一同、心機一転して市政に取り組んでおります。議会改革を常に考え、市民の方々の付託に応えるべく、少しでも明るい高浜の未来をお示しできるよう努めてまいります。最後に、市民の皆さま方のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



高浜市議会議長 幸前 信雄